

令和8年度 第2回 北浜東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月16日（火）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 北浜東小学校 特別室
- 3 出席委員 本間 規子、生熊 義憲、今田 栄之助、久保田 静香、松島 晃市
小高 由貴美、今村 恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 中島 利美（校長）、佐野 教代（教頭）、
加藤 美沙（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 入手 佑香（CSディレクター）
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、久保田委員と本間委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 授業から見える子供の実態（参観の視点をもとに）
- (2) 地域ふれあい活動をよりよくするために
- (3) 東っ子のびのび応援隊の支援策

11 会議記録

司会の教務主任から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 授業から見える子供の実態（参観の視点をもとに）

議長の指示により、教頭から授業参観をもとに、次の2点の視点に基づいて熟議したい旨の説明があった。

- ① 子供は、自分の考えをもち、思いが伝わるように、進んで相手に伝えようとしているか。
- ② 子供は、相手が言おうとしていることを、温かい気持ちで理解しようとしていたり、受け入れようとしていたりしていたか。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 自分が理解していることを周りの友達に伝えようと努力していた。しかし、伝えた内容が相手にどのように受け取られているのか、また、相手の気持ちや反応が見えにくいと感じた。（生熊委員）
- ・ 自分たちの時代とは異なり、現在はタブレットを活用して視覚的に学ぶスタイルが一般的になり、学びの方法や時代の変化を強く実感した。

（松島委員）

- ・ 参観会とはまた異なり、普段の子供たちの自然な様子を見ることができ、とても嬉しかった。(今村委員)
- ・ 学年によって発達段階は異なるものの、どのクラスも一生懸命に取り組んでいた。友達が発言しているときは、その子の顔を見てしっかりと聞いていた。また、説明がうまく伝わらなくても、先生が子供の話を最後まで聞いてくれていることが有り難いと感じた。(今村委員)
- ・ 全体的に活気があり、低学年は自己主張がはっきりしていた。一方、高学年は考えをもつものの、積極的に伝えるのが苦手な子もいると感じた。成長とともに、子供たちは相手を観察し、待つ姿勢を身につけていると思う。
(小高委員)
- ・ 低学年の子供たちはまだ幼さがあり、その自由な発言にかわいらしさを感じた。ブロックを使ったり手を動かしたりする授業は楽しそうで、主体的に取り組む様子が見られ、集中して取り組んでいた。どのクラスの子供も笑顔で、授業が楽しそうだった。(久保田委員)
- ・ 子供たちが授業を楽しめるように、授業展開を工夫し、子供たちの自主性を大切にしていることが伝わってきた。(本間委員)
- ・ 5年生の外国語の授業では、子供たちがいきいきと参加している様子がとても印象的だった。また、先生の声もはつらつとしていて、その熱意が子供たちにも伝わり、子供たちがいきいきとした表情になっていると感じた。
(本間委員)
- ・ タブレットで検索の仕方が分からない友達の様子を見て、隣にいた児童が自分から声をかけて教えてあげる姿が見られた。(本間委員)
- ・ 廊下ですれ違った子供たちが挨拶をしてくれ、挨拶の習慣が浸透していると感じた。(本間委員)
- ・ 自分の考えをもち、思いを伝えようと進んで行動しているようには感じられなかった。(今田委員)
- ・ 1年生からタブレットを使い始めていることに驚いた。理科の授業では、体育館で風船を使い、「とじこめた空気や水」について学習していたが、体育館でタブレットが必要なのか疑問に思った。(今田委員)
- ・ 普段はあまり会わない子供たちに、廊下や階段で声をかけてみたが、気軽に応えてくれた。明るい学校の雰囲気を感じた。(今田委員)

(2) 地域ふれあい活動をよりよくするために

議長の指示により、教頭から地域ふれあい活動が子供にとっても大人にとっても有意義なものとなるためにはどうすべきか、また今後の課題について説明があり、委員からは以下の意見が出され、まとめられた。

- ・ 地域ふれあい活動の視点を変革し、従来の「自分の地域の子供たちだけに限定する」形から、地区の垣根を越えて、地域の方々が提供するさまざまなブースに子供たちが自由に出入りできるようにしてみてもどうか。これにより、子供たちは自身の興味や関心に応じて活動に参加できるため、より楽し

い体験になると思う。

(3) 東っ子のびのび応援隊の支援策

議長の指示により、教頭から、「東っ子のびのび応援隊」について今年度の登録状況について説明があった。また、関わってくださる方々にもメリットが生まれるようにしたい。そのために、どのような声掛けや支援策を行うと互いにとって良い活動になるか熟議したい旨の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 企業からの支援や提案について、学校側からアプローチしたのか。
(本間委員)
- ・ 企業から地域の貢献活動についてご提案をいただき、「学校で困っていることはありませんか？」と尋ねてくれた。双方が実現可能と判断した内容について取り組みを進めている。(教頭)
- ・ 子供たちは授業等で企業と関わりがあるため、企業のバスを見ると興味をもち、意識している様子だった。(小高委員)
- ・ 学校の植木について、柘植と山桃の木が伸び放題になっていることが気になる。定期的な手入れは行っているのか。(今田委員)
- ・ 2年前に業者に依頼して剪定をしてもらった。剪定費用は学校の予算の中から支出されており、教材や備品等の購入も必要となるため、限られた資金の中でやりくりしなければならない。(校長)
- ・ 学校の敷地が広いので、草取りなどの作業は用務員だけでは対応しきれない。(教頭)

11 連絡事項

現在、学校支援コーディネーターが不在であり、学校側も引き続き人材を探しているが、なかなかお受けいただくことができない。そのため、学校と地域をつなぐ役割を担っていただける方を紹介してもらいたい旨の説明があった。

12 その他報告事項

司会から、第3回学校運営協議会は、12月15日(火)午後2時から特別室で開催する旨の報告があった。